

ホーリフティングケア体験報告

～介護される人・する人、双方の安全と安心を目指して～

九州大谷短期大学 専攻科福祉専攻

引きずらない！

持ち上げない！

抱え上げない！



中腰姿勢・腰をひねる動作

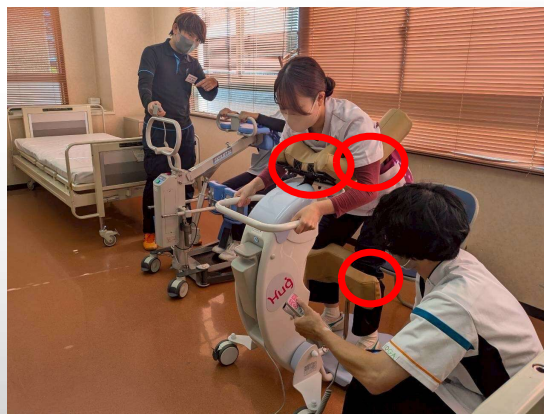


皮膚の表皮剥離・内出血・褥瘡の リスクアップ

ノーリフティングケアを実際に体験しました！

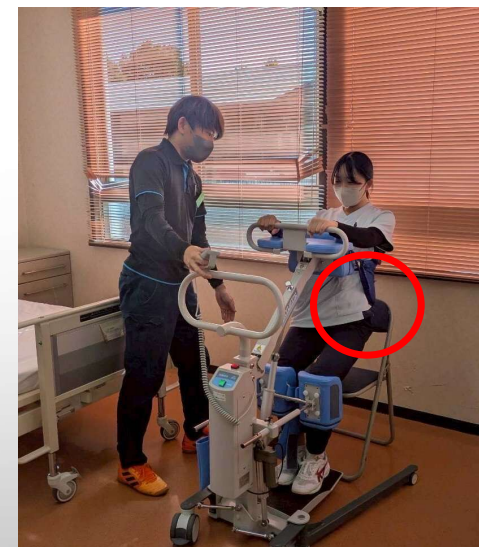
ハグ

- ・排泄の介助がしやすそうだった
- ・力を使わず乗るだけで体勢が変わった
- ・前傾姿勢になるので体勢が恥ずかしい
- ・全体重が脇にかかるため脇が痛い



スカイリフト

- ・ハグに比べて恥ずかしい体勢にならなくて良い
- ・リフトを使わずに自分の力だけで持ち上げるのに比べて見守るだけでいいので負担が少ない
- ・腰に重心がかかるため、腰が痛かった
- ・降下しているときに座るタイミングが分かりずらくて怖かった



スライディングシート・ボード



- ・自立している方だと一人で使うことができる
- ・場所を取らない
- ・体を捻らないので腰が痛くならない
- ・利用者側も力を入れなくていいから楽



床走行型リフト

- ・力を入れなくていいから介助する方もされる方も楽
- ・恥ずかしさはない
- ・フィット感があって落ちる心配もない
- ・正面に回れて顔が見れるので不安がない
- ・移乗の際に介護者に負担がかからない
- ・様々な場面で活用することができる



利用者目線では...

安心感



負担軽減

気を遣わない



介護者目線では...

負担が少ない

効率が上がる

安心



ノーリフティングケアは、
介護者の労働の安全性の確保
利用者の安全快適なケア
両立させることができる！

長く安心して働ける

ご清聴ありがとうございました。

